



さかもと

さわやかに かがやいて たくひょうもって ともにあゆもう

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakamoto/>

「人権週間」をご存知ですか？

校長 神倉美智子

最近私は、今話題の『下町ロケット』というテレビ番組にはまっています。テレビドラマで次々とヒットを飛ばす作家、池井戸潤さんの直木賞受賞作ですから、期待を裏切らないおもしろさで、毎週日曜日の夜が楽しみになりました。

このドラマは、自分の仕事に夢とプライドを持って取り組む中小企業の社長や従業員と、それを傘下に収め、自社の利益を追求しようとする大企業との戦いを描いています。話の前半の展開では、大企業の社員は慰勸に、そして高圧的に中小企業のチャレンジをつぶそうと画策します。その際の言動がとても冷淡で意地悪で、あからさまに見下したい方をするのです。ドラマですから、中小企業の社長は思い切り熱血漢に、大企業や官僚は冷淡に描かれています。それが話が進むにつれて大逆転の勝利を収めるのですから、見ている視聴者は胸がすっとするわけです。現代版「水戸黄門」のような勧善懲悪の気持ちよさに、また来週も楽しみに見てしまうという、制作側の意図に完全にはまっています。

ただ、この中で気になるのが、悪役の意地悪い台詞です。相手を思いきり馬鹿にした言葉を平気でぶつけます。(だからこそドラマの最後がおもしろくなるのですが…)こんな人を傷つける言葉を普通の人には言わないのではないのでしょうか。テレビを見ながら思わず、「そんないい方、あり得ないでしょ。」とつぶやいてしまうこともあります。

さて、坂本小の12月の生活目標は、6年生の児童が相談して考えて決めた「やさしい言葉をかけよう～相手のうけとる気持ちを考えて～」です。今週の児童朝会でステージ上に立ち、全校児童に発表しました。12月にふさわしい、とてもいいめあてだと思いました。

12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」といいます。昭和23年に国連で「世界人権宣言」が採択された日を記念してはじまり、今年で67年目になりますが、一般的にはあまり認知されていないようです。「人権」とは、簡単に言えば「人間が人間らしく幸せに生きる権利」です。「人間らしく生きたい」と願うのは誰もの願いで、この自由や権利が侵されての幸せはあり得ません。

学校では、子どもたちが豊かな人権感覚を身に付けることを目的として、相手の気持ちを考えられる、思いやりのある心を育てたいと努力しています。そのためにも、「いじめ」は絶対に許さないというスタンスで指導を行っています。でも、残念ながら、なかなかいじめゼロにはなりません。本当に強い人は、いつでも、誰に対してもやさしく接することができるはずです。また、決して特別に強くない人でも、自分が幸せだったり、嬉しい気持ちでいるときは、人にも優しくなれるものです。

いつも、子どもたちみんなが、幸せな気持ちで明るく楽しい毎日を過ごせるよう、学校と家庭とで協力して見守っていききたいものです。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

